

平成29年度の取組について

外国人来訪者等が利用する施設における避難誘導のあり方等に関する検討部会 平成29年度実施体制(案)

外国人来訪者等が利用する施設における避難誘導のあり方等に関する検討部会

(仮称)外国人来訪者等に配慮した情報伝達・避難誘導のメッセージ等検討WG

- 検討内容 : ①放送やテキスト表示などで使用する文例の多言語化
- ②デジタルサイネージ等における文字と絵・図等の組合せ
- ③案内図記号(ピクトグラム)の活用

○構成メンバー:学識経験者

施設関係者・・・駅・空港等／競技場／旅館・ホテル等

その他の関係者・・・警備業関係／翻訳関係／自動火災報知設備・非常放送関係／
デジタルサイネージ関係／ピクトグラム関係 など

消防機関

(仮称)施設の防火・防災対策に関する情報コンテンツ集及び教育・訓練プログラム検討WG

- 検討内容 : ①施設の防火・防災対策などに関する情報コンテンツ集(例)
- ②外国人来訪者等に配慮した情報伝達・避難誘導に関する教育・訓練プログラム

○構成メンバー:学識経験者

施設関係者・・・駅・空港等／競技場／旅館・ホテル等

その他の関係者・・・警備業関係／自動火災報知設備・非常放送関係／自衛消防
業務講習関係 など

消防機関

外国人来訪者等が利用する施設における避難誘導のあり方等に関する検討部会 平成29年度検討部会・WGスケジュール(案)

	H29年 3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	H30年度 以降
検討部会	第3回 ・ガイドライン骨子とりまとめ ・WG設置(案)						第4回			第5回			第6回 ガイドラインの策定	周知や訓練など
検討WG メッセージ等	① 火災及び地震発生時に使用される文例の整理 ② デジタルサイネージ等で使用する文字や絵、図等の整理 ③ 関連ピクトグラムの整理	・文例の多言語翻訳の検討					WG中間報告・訓練(実証実験)計画(案)		・多言語文例集(案)の作成 ・デジタルサイネージ等の表示例(案)の作成 ・ピクトグラムの活用例(案)の作成				WG最終報告(訓練(実証実験)結果・成果物)	
コンテンツ・プログラム検討WG	① 施設の防火・防災対策の整理 外国人来訪者等への情報伝達や避難誘導の際の留意事項の整理 その他の情報コンテンツの内容検討 ② モデル施設の選定・訓練要領等の検討	・情報コンテンツ集の活用方法の検討						訓練(実証実験)	・情報コンテンツ集及び活用例(案)の作成 ・教育・訓練プログラム(案)の作成					

○ 情報伝達・避難誘導の具体的なメッセージの検討について

- ・ 災害現場に応じた情報伝達や避難誘導が正確・迅速にできることが重要。
- ・ 地震発生時のメッセージの内容に、津波に関する情報を含める必要があるのではないか。
- ・ 外国人来訪者等のニーズ等のほか、様々な技術や製品等の機能を踏まえて検討。
- ・ フリップボードは、用意していないパターン(事案)には対応できないことや保管の仕方によってはすぐに使用できないことなどがあり、使用方法を踏まえたメッセージの内容の検討が重要。
- ・ スマートフォンアプリやデジタルサイネージ等で外国人来訪者等に伝達した際の効果を検証することが必要。

○ 案内図記号(ピクトグラム)の活用に関する整理について

- ・ 中国や韓国における災害発生時の情報伝達や避難誘導に関連するピクトグラムを収集し、比較することが有効。

○ その他

- ・ メッセージの内容は、外国人来訪者等だけでなく、子どもにも伝わるもの(やさしい日本語やピクトグラムの活用など)が良いではないか。
- ・ 聴覚障がいがある方は、自動火災報知設備の鳴動音が聞こえない可能性が高いため、振動や光など音外の方法で知らせることも有効。

○ 施設の防火・防災対策などに関する情報コンテンツ集(例)の作成について

- ・ 施設の防火・防災対策に関する具体的な内容をハード面・ソフト面で分けて例示すると理解しやすいのではないか。
- ・ 施設関係者が、障がいなど様々な身体的特性がある方に対応できるよう、個別のニーズを把握する方策(例えば、メールでの情報伝達を希望する方のメールアドレスの把握方法など)の検討が重要。

○ 情報伝達・避難誘導に関する教育・訓練プログラムの検討について

- ・ 自衛消防隊やボランティアとして会場整理等に携わる関係者が、ガイドラインの趣旨に沿って的確に行動できるようになることが重要。
- ・ 消防計画に定める基本的な情報伝達や避難誘導に付加する内容(外国人来訪者等への配慮)を明確にしておくこと、理解しやすいのではないか。また、消防計画の作成義務がない施設についても、施設関係者が外国人来訪者等に配慮した情報伝達や避難誘導の要領を定められるようにしておくことが有効。
- ・ 施設の実情等(構造や階数、用途、収容人員等)を踏まえて、施設関係者が外国人来訪者等に配慮したきめ細やかな情報伝達や避難誘導の要領を定めることが重要。

○ その他

- ・ 国際試合を行うようなスタジアムでは、座席の色分けや東西南北(EWSN)を大きく表示する等により、座席の位置を明確化することで、災害の状況に応じた部分的な避難などにより安全に避難できるのではないか。
- ・ 聴覚障がいのある方への情報伝達や避難誘導について、簡単な手話を使用することも一つの方法ではないか。